



## 麒麟のまち圏域産業構造分析（中間報告）

平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料（平成28年11月28日）

作成：株山陰経済経営研究所

### 目 次



#### I. 麒麟のまち圏域の産業構造分析

- I-1. 人口構造
- I-2. 産業構造
- I-3. 各種都市機能の状況

#### II. 麒麟のまち圏域と他圏域との比較分析

- II-1. 比較圏域の考え方
- II-2. 人口の動向
- II-3. 産業の動向

# I. 麒麟のまち圏域の産業構造分析

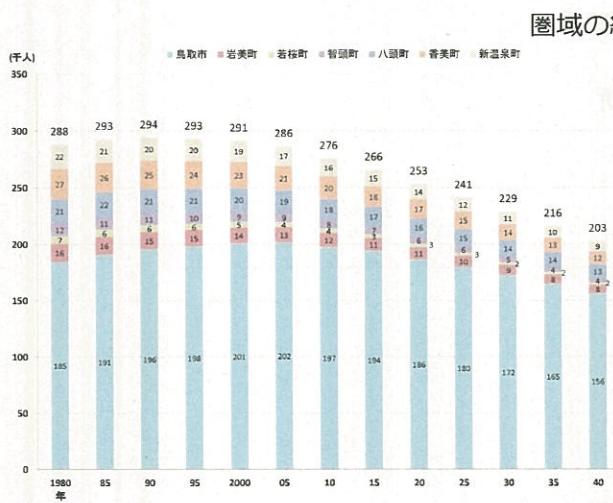
▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-3-

## I-1. 人口構造 (1) 人口の推移



- 本圏域の総人口は1990年の29.4万人をピークに減少が始まっており、2015年には26.6万人となっている。国立社会保障人口問題研究所の推計では、今後も減少が続き、2040年には20.3万人になるとされている。
- 国立社会保障人口問題研究所によると、今後は構成市すべてで人口減少が進むことが予想されており、人口減少社会に対し圏域全体で対処していくことが必要となる。



	上段：総人口(人)、下段：前期比増減率(%)							
	1980年	1990年	2000年	2010年	2015年	2020年	2030年	2040年
鳥取市	184,601	195,707	200,744	197,449	193,766	186,397	172,430	156,133
	-	6.0%	2.6%	-1.6%	-5.6%	-7.5%	-9.5%	
岩美町	15,969	15,342	14,015	12,362	11,488	10,694	9,143	7,669
	-	-3.9%	-8.6%	-11.8%	-13.5%	-14.5%	-16.1%	
若桜町	6,633	6,004	4,998	3,873	3,272	3,029	2,314	1,750
	-	-9.5%	-16.8%	-22.5%	-21.8%	-23.6%	-24.4%	
智頭町	11,504	10,670	9,383	7,718	7,153	6,242	4,967	3,870
	-	-7.2%	-12.1%	-17.7%	-19.1%	-20.4%	-22.1%	
八頭町	21,303	21,091	20,245	18,427	16,990	16,445	14,480	12,529
	-	-1.0%	-4.0%	-9.0%	-10.8%	-11.9%	-13.5%	
香美町	26,694	25,136	23,271	19,696	18,076	16,691	13,973	11,537
	-	-5.8%	-7.4%	-15.4%	-15.3%	-16.3%	-17.4%	
新温泉町	21,514	20,226	18,601	16,004	14,818	13,523	11,270	9,194
	-	-6.0%	-8.0%	-14.0%	-15.5%	-16.7%	-18.4%	
圏域計	288,218	294,176	291,257	275,529	265,563	253,021	228,577	202,682
	-	2.1%	-1.0%	-5.4%	-3.6%	-4.7%	-9.7%	-11.3%

資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-4-

# I – 1. 人口構造

## (2) 人口動態

- 自然動態は、高齢化の進展により2001年以降自然減（出生<死亡）に転じ、減少幅は年々拡大している。
- 社会動態は、1996年以降一貫して社会減（転入<転出）となっている。
- これら自然動態・社会動態を合わせた人口動態は、1996年以降継続して減少傾向にある。

圏域の人口動態（自然動態・社会動態）の推移



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」、  
厚生労働省「人口動態調査」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：隠山陰経済経営研究所

-5-

# I – 1. 人口構造

## (3) 通勤・通学の状況

- 本圏域における通勤通学割合（2010年国勢調査）は、圏域の中心市である鳥取市への通勤通学割合が高く、八頭町（57.9%）、岩美町（52.2%）、若桜町（42.6%）、智頭町（34.6%）、新温泉町（6.6%）、香美町（0.5%）となっている。

鳥取市への通勤通学割合（2010年）



資料：総務省「国勢調査」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：隠山陰経済経営研究所

-6-

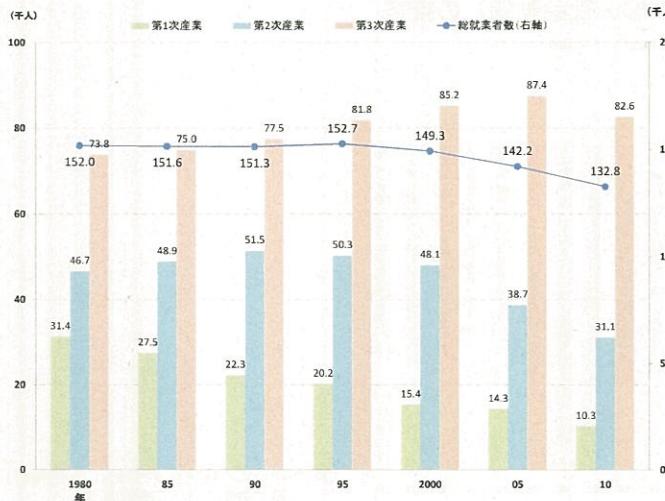


# I - 1. 人口構造

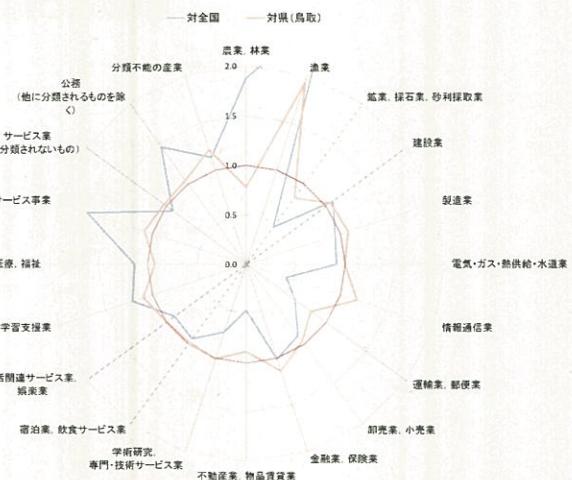
## (4) 就業構造

- 本圏域の総就業者数は、1995年の15.3万人をピークに減少しており、2010年は13.3万人となっている。
- 産業別の就業者数の特化係数をみると、「農業・林業」「漁業」といった第1次産業に分類される産業分野で特化係数が1を超えておりのが本圏域の特徴といえる。

産業3分類別就業者数の推移



産業別就業者数の特化係数（2010年）



資料：総務省「国勢調査」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

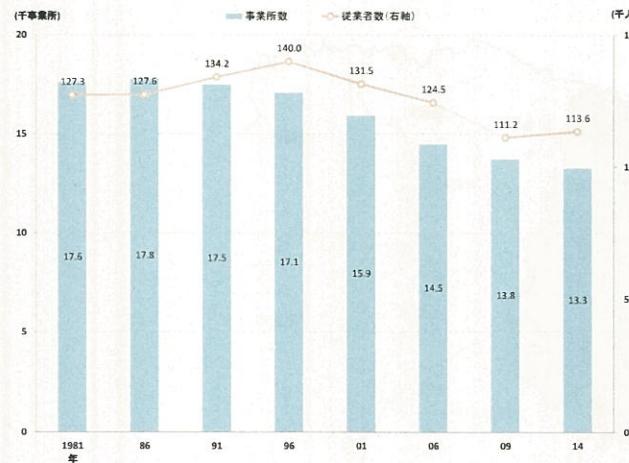
- 7 -

# I - 2. 産業構造

## (1) 産業構造概況

- 本圏域の民営事業所数は約1.3万事業所、従業者数は11.4万人。事業所数は1986年をピークに、従業者数は1996年をピークに減少傾向にある。
- 構成市町別にみると、第二次産業及び第三次産業では事業所・従業者ともに約6～8割が鳥取市に集中している。

民営事業所数・従業者数の推移



構成市町別の産業別従業者数（2014年）

地域	構成市町別の産業別従業者数(2014年)				(単位:事業所, %)			
	第一次産業	第二次産業	第三次産業	合計				
	事業所数(構成比)	事業所数(構成比)	事業所数(構成比)	事業所数(構成比)				
鳥取市	88	47.3	1,354	62.5	8,097	74.0	9,539	71.8
岩美町	25	13.4	81	3.7	327	3.0	433	3.3
若桜町	6	3.2	33	1.5	137	1.3	176	1.3
智頭町	7	3.8	94	4.3	261	2.4	362	2.7
八頭町	22	11.8	128	5.9	440	4.0	590	4.4
香美町	23	12.4	307	14.2	1,008	9.2	1,338	10.1
新温泉町	15	8.1	168	7.8	665	6.1	848	6.4
区域計	186	100.0	2,165	100.0	10,935	100.0	13,286	100.0

資料：総務省「企業・事業所統計」、  
総務省・経済産業省「経済センサス基礎調査」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

- 8 -



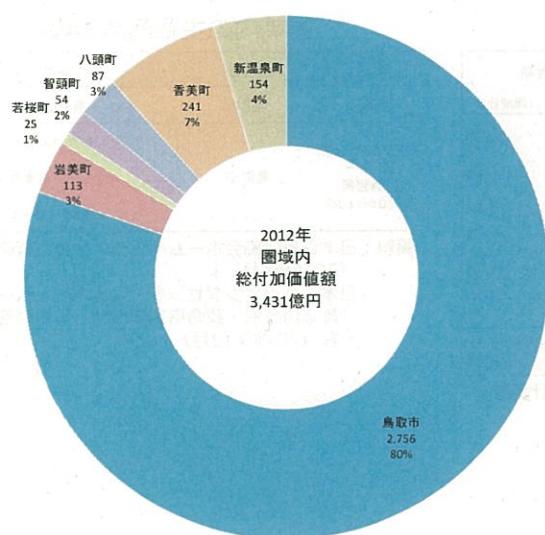
麒麟のまち

## I - 2. 産業構造

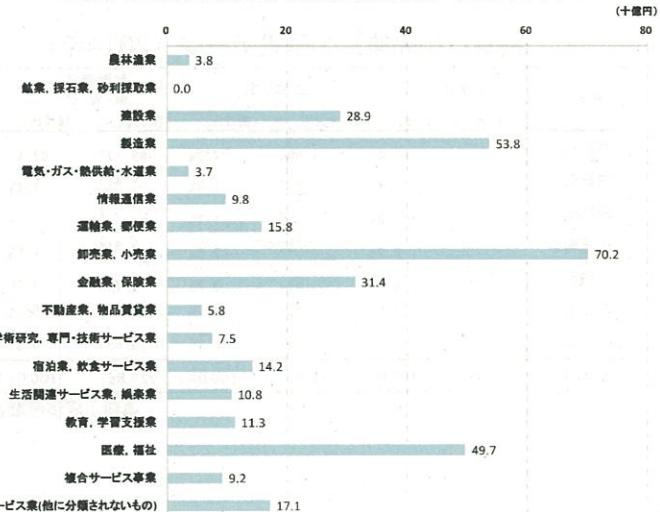
### (2) 付加価値額

- 本圏域の2012年度の総付加価値額は約3,400億円であり、約8割を鳥取市が占めている。
- 業種別の付加価値額をみると、「卸売・小売業」「製造業」「医療・福祉」の割合が高い。

圏域内市町の付加価値額の構成（2012年）



圏域の付加価値額の業種別構成（2012年）



資料：総務省・経済産業省「経済センサス基礎調査」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-9-



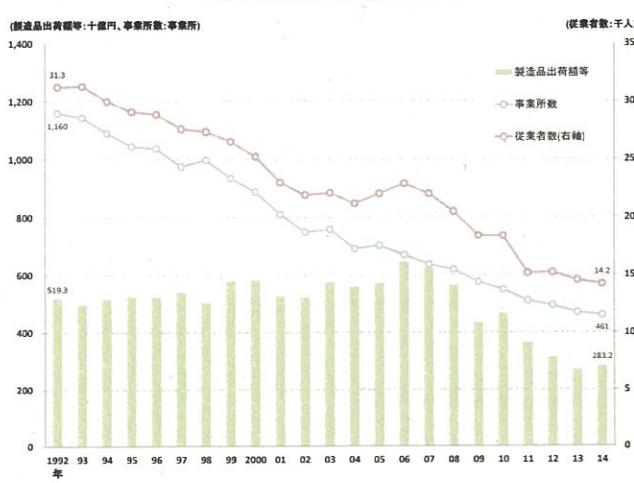
麒麟のまち

## I - 2. 産業構造

### (3) 製造業

- 本圏域の製造業出荷額等は、リーマンショックや大手製造業事業所の閉鎖等の影響もあり2006年以降減少傾向が続き、2014年には2,832億円となっている。
- また、製造業の事業所数・従業者数も減少が続いている。

圏域の製造業の推移



製造業の業種別基礎データ（2014年）

業種	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		付加価値額	
	(事業所)	(構成比)	(人)	(構成比)	(百万円)	(構成比)	(百万円)	(構成比)
電子部品	34	7.4	2,554	18.0	66,017	29.4	22,455	29.4
電気機械	47	10.2	2,540	17.9	50,507	22.5	11,334	14.8
食料品	115	24.9	2,416	17.0	28,182	12.6	10,828	14.2
パルプ・紙	22	4.8	659	4.6	21,589	9.6	5,632	7.4
金属製品	38	8.2	1,016	7.1	13,945	6.2	5,666	7.4
生産用機械	25	5.4	760	5.3	12,138	5.4	4,584	6.0
繊維	43	9.3	1,297	9.1	7,430	3.3	4,327	5.7
輸送用機械	13	2.8	296	2.1	4,903	2.2	1,503	2.0
飲料・たばこ	9	2.0	248	1.7	4,092	1.8	2,285	3.0
印刷	18	3.9	346	2.4	4,067	1.8	1,911	2.5
プラスチック	15	3.3	271	1.9	3,757	1.7	1,752	2.3
窯業・土石	19	4.1	259	1.8	3,340	1.5	1,144	1.5
ゴム製品	5	1.1	174	1.2	1,392	0.6	826	1.1
その他	14	3.0	173	1.2	1,085	0.5	636	0.8
はん用機械	9	2.0	65	0.5	758	0.3	298	0.4
家具	8	1.7	91	0.6	556	0.2	278	0.4
木材	12	2.6	160	1.1	516	0.2	250	0.3
業務用機械	9	2.0	561	3.9	222	0.1	704	0.9
化学	1	0.2	19	0.1	-	-	-	-
石油・石炭	2	0.4	11	0.1	-	-	-	-
情報通信機械	3	0.7	312	2.2	-	-	-	-

\*「-」は秘匿値

資料：経済産業省「工業統計調査」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-10-

# I - 2. 産業構造

## (4) 商業

- 本圏域の年間商品販売額（小売）は、2014年では約2,269億円で、そのうち83.4%を鳥取市が占めている。
- 鳥取市内には、百貨店や大型ショッピングセンターが立地し、本圏域における高度な消費者ニーズを受け止める受け皿となっている。

商業（小売業）の基礎データ（2014年）

地域	事業所数		従業者数		年間商品販売額		売場面積	
	（事業所）	（構成比）	（人）	（構成比）	（百万円）	（構成比）	（m <sup>2</sup> ）	（構成比）
鳥取市	1,383	66.4%	9,588	77.3%	189,174	83.4%	254,956	80.5%
岩美町	71	3.4%	334	2.7%	5,417	2.4%	9,326	2.9%
若桜町	40	1.9%	135	1.1%	X	-	1,179	0.4%
智頭町	66	3.2%	282	2.3%	3,614	1.6%	5,333	1.7%
八頭町	114	5.5%	473	3.8%	5,745	2.5%	12,552	4.0%
香美町	248	11.9%	831	6.7%	13,228	5.8%	16,845	5.3%
新温泉町	161	7.7%	757	6.1%	9,683	4.3%	16,608	5.2%
圏域計	2,083	100.0%	12,400	100.0%	226,861	100.0%	316,799	100.0%

資料：経済産業省「商業統計調査」

圏域内の主要商業施設

区分	所在地	名称
百貨店	鳥取市	鳥取大丸
主要ショッピングセンター (店舗面積 10,000m <sup>2</sup> 以上)	鳥取市	トスク本店 イオンモール鳥取北 トリニティモール

資料：日本百貨店協会ホームページ「会員百貨店一覧（2016年4月）」  
日本ショッピングセンター協会ホームページ「都道府県別・政令指定都市別・市町村別 S C 一覧（2014年12月）」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

- 11 -

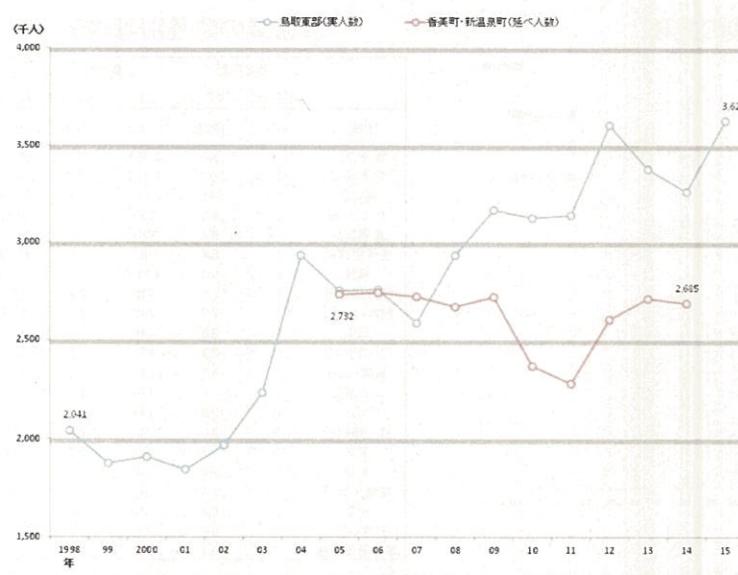
# I - 2. 産業構造

## (5) 観光業



- 鳥取県東部（鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町）の観光入込客数は増加傾向、香美町・新温泉町の観光入込客数は、一時期落ち込みがあったがその後は回復。

圏域内の観光入込客数



資料：鳥取県観光客入込動態調査、兵庫県観光客動態調査報告書

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

- 12 -



# I - 3. 各種都市機能の状況

## (1) 医療

- 本圏域には18病院（一般病院）、215診療所（一般診療所）があり、そのうち12病院・167診療所が鳥取市に所在している。人口千人あたりの医師数でも鳥取市は2.7人と圏域内で最も多い。
- 県内・圏域内における主要な拠点病院の多くが鳥取市に立地しており、高度医療提供の中心となっている。

構成市別の医療施設数・医師数（2014年）

二次保健 医療圏	市名	医療施設			医師	
		一般病院数 (施設)	一般診療所数 (施設)	人口千人当たり 医療施設数	医師数 (人)	人口千人当たり 医師数
東部 保健医療圏	鳥取市	12	167	0.9	521	2.7
	岩美町	1	5	0.4	14	1.1
	若桜町	-	3	0.8	2	0.5
	智頭町	1	4	0.5	10	1.3
	八頭町	-	12	0.7	15	0.8
但馬 保健医療圏	香美町	2	12	0.6	16	0.8
	新温泉町	2	12	0.7	16	1.0
圏域全体		18	215	4.6	594	8.3

資料：厚生労働省「医療施設調査」「医師・歯科医師・薬剤師調査」  
総務省「住民基本台帳」

圏域内の主な拠点病院

分類	病院名	所在地
がん診療連携 拠点病院	鳥取大学医学部付属病院	鳥取市
	鳥取県立中央病院	鳥取市
	鳥取市立病院	鳥取市
救急救命センター	鳥取県立中央病院	鳥取市
	鳥取市立病院	鳥取市
	鳥取赤十字病院	鳥取市
二次救急医療機関	鳥取生協病院	鳥取市
	岩美病院	岩美町
	智頭病院	智頭町
	総合周産期母子医療センター	鳥取大学医学部付属病院
地域周産期母子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市
災害拠点病院	鳥取県立中央病院(基幹災害拠点病院)	鳥取市
	鳥取赤十字病院(地域災害拠点病院)	鳥取市
べき地医療拠点病院	鳥取県立中央病院	鳥取市

資料：鳥取県「鳥取県保健医療計画」  
兵庫県「保健医療計画」

-13-

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

# I - 3. 各種都市機能の状況

## (2) 教育



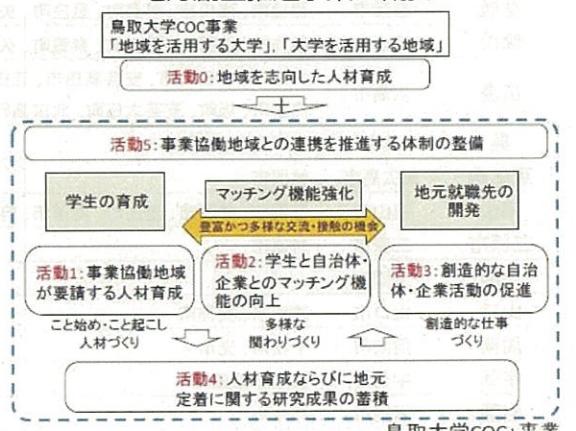
- 圏域には鳥取大学及び鳥取環境大学の2つの高等教育機関があり、7,500人の学生が学んでいる。
- 近年の地方創生の流れの中で、地域において大学の果たす役割が注目されており、鳥取大学を中心に県内の高等教育機関が連携した「地（知）の拠点大学」関連事業により、产学研官連携の取組が進んでいる。

圏域内の大学（大学院）の学生数（2015年）

分類	学校名	主な所在地	学生数(人)	
			大学	大学院
大学	鳥取大学	鳥取市	5,258	1,005
		鳥取市	1,230	7
合計			6,488	1,012

資料：各学校ウェブサイト掲載の2015年情報開示資料等

圏域内に立地する地（知）の拠点大学による  
地方創生推進事業の概要



鳥取大学COC+事業  
資料：鳥取大学ウェブサイト

-14-

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

## II. 麒麟のまち圏域と他圏域との比較分析

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：櫛山陰経済経営研究所

-15-

### II-1. 比較都市圏域 (1) 比較する都市圏域

比較する都市圏域

都市圏	中心市	構成市	人口(人)
倉吉	倉吉市	三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町	104,367
米子	米子市	境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町 日野町、江府町、安来市	276,165
松江	松江市	安来市、雲南市、東出雲町、斐川町	329,106
岡山	岡山市	倉敷市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市 和気町、早島町、久米南町、吉備中央町	1,483,530
倉敷	倉敷市	総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町	615,888
津山	津山市	美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町	180,899
広島	広島市	大竹市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町 熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町	1,532,776
呉	呉市	江田島市、熊野町	276,748
東広島	東広島市	竹原市	219,345
福山	福山市	笠岡市、井原市、里庄町、尾道市、府中市、神石高原町	755,889
三原市	三原市	竹原市	122,645
下関	下関市		268,617
山口	山口市	防府市、美祢市	339,649
周南	周南市	下松市、光市	251,936
宇部	宇部市	山陽小野田市	232,116
岩国	岩国市	和木町	143,097

資料：総務省「国勢調査」

【比較対象圏域の考え方】

- 比較対象都市圏域は、麒麟のまち圏域を除き、10%通勤・通学圏（以下、都市圏。）とする。なお、都市圏域の設定については、2010年の国勢調査のデータを用い、総務省「連携中枢都市圏要綱」の通勤・通学割合の考え方を用いて実施する。
- ただし、自市ののみで10万人以上の人団規模を有しているが、近隣自治体から10%以上の通勤・通学がない場合は、その市をもって一つの都市圏を構成しているとみなす。
- 所在地域については、麒麟のまち圏域と同様に中国地方に所在する都市圏とする。

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：櫛山陰経済経営研究所

-16-



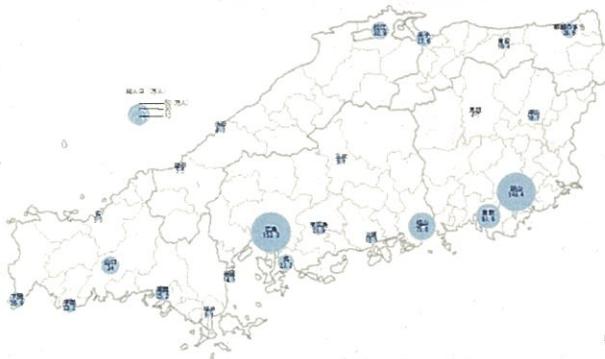
麒麟のまち

## II-2. 人口の動向

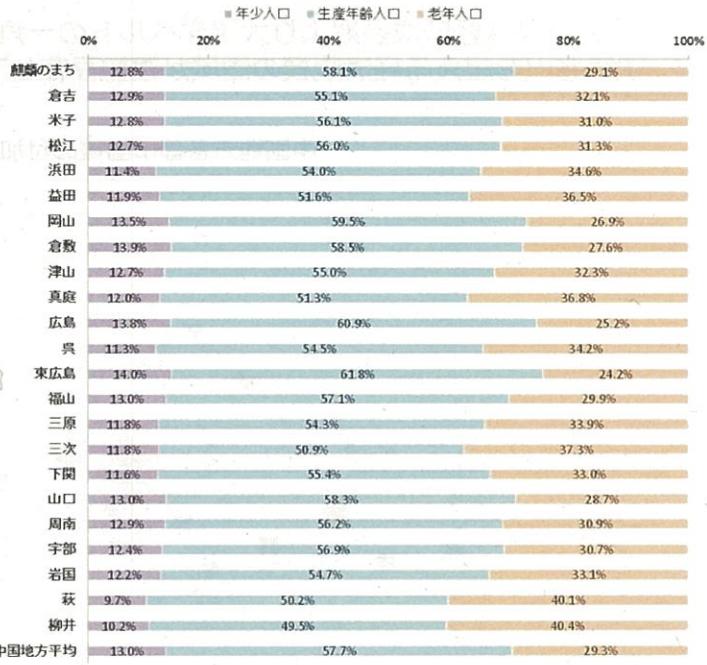
### (1) 人口規模・構造

- 山陰側で最も人口規模の大きい都市圏域は松江（圏域人口：32.9万人）、以下、米子（27.6万人）、本圏域（26.6万人）、倉吉（10.4万人）が続いている
- 麒麟のまち圏域の高齢化率は29.1%で、人口構造は中国地方平均とほぼ同様

中国地方各都市圏域の人口（2015年）



中国地方各都市圏域の人口構造（2015年）



資料：総務省「国勢調査」

-17-

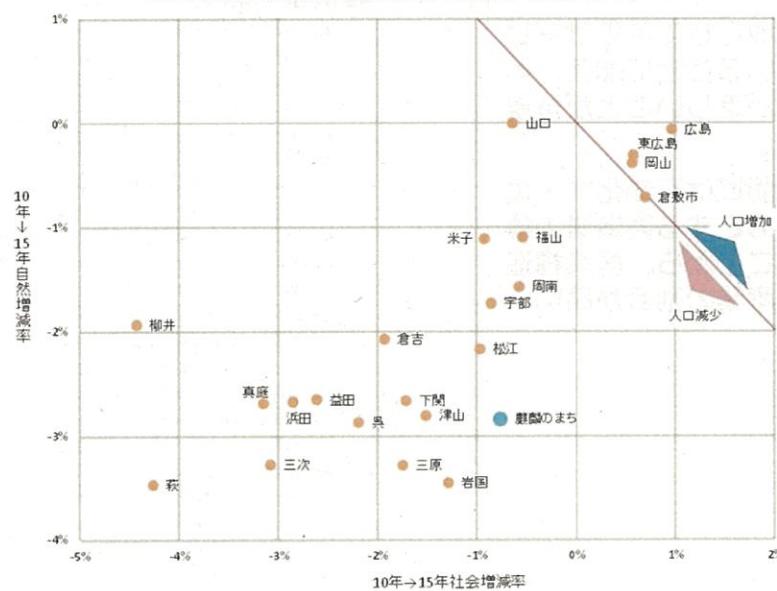
▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：隠山陰経済経営研究所

## II-2. 人口の動向

### (2) 人口動態

- 2010年から2015年にかけて人口が増加した圏域は、広島、岡山、東広島の3圏域のみ
- 麒麟のまち圏域は、自然減少はほぼ津山、呉と、社会減少は宇部、米子、松江と同水準

中国地方各都市圏域の人口動態（2015年）



資料：総務省「国勢調査」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：隠山陰経済経営研究所

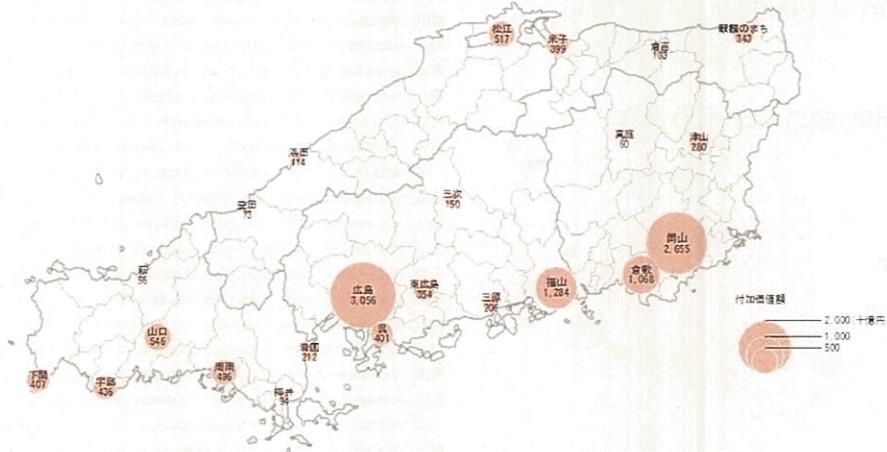
-18-

## II-3. 産業の動向

### (1) 経済規模

- 麒麟のまち圏域の2012年度の総付加価値額3,430億円は、山陰側では松江（5,170億円）、米子（3,990億円）に次ぐ規模であり、山陰地方の重要な経済圏域を形成している
- 一方で高度経済成長期より太平洋ベルトの一角として重工業の集積が進んできた山陽側には1兆円を超える経済規模の圏域が複数存在している。

中国地方各都市圏域の付加価値額（2012年）



資料：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

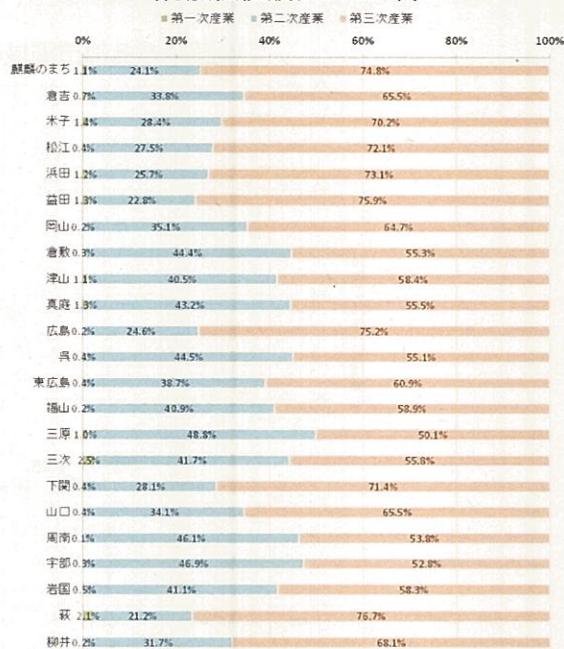
-19-

## II-3. 産業の動向

### (2) 産業構造

- 麒麟のまち圏域は、付加価値額全体の74.8%を第三次産業が占める、サービス業を中心とする産業構造である
- これは県庁所在地として各種サービス業が集積していることに加え、第二次産業の集積が乏しいことが背景にある
- 他方、山陽側の圏域は石油化学・輸送用機械をはじめとする製造業の集積が進んでいることから、産業構造に占める第二次産業の割合が高い

中国地方各都市圏域の産業3分類別構成比  
(付加価値額、2012年)



資料：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-20-



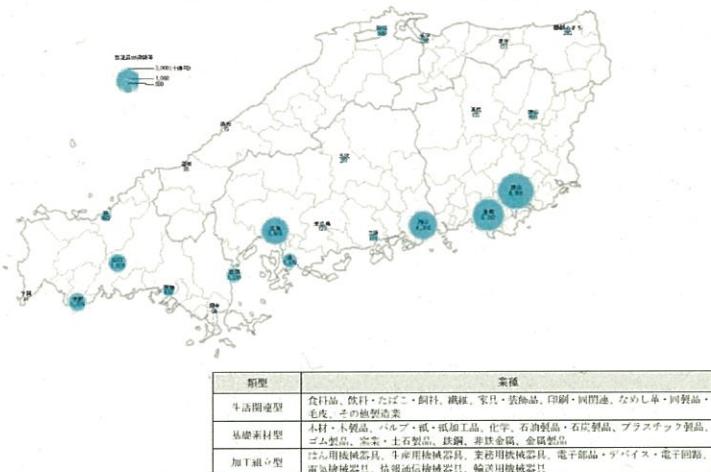
麒麟のまち

## II-3. 産業の動向

### (3) 製造業

- 山陰側は、山陽側に比べ製造業出荷額等は少ない
- 麒麟のまち圏域は電子デバイス・電気機械をはじめとする「加工組立型」の製造業に特色がある。

中国地方各都市圏域の製造品出荷額等（2014年）

中国地方各都市圏域の製造業3類型別の  
製造品出荷額等（2014年）

資料：経済産業省「工業統計調査」





## 住民アンケート 速報結果概要

平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料（平成28年11月28日）

作成：株山陰経済経営研究所

### 住民アンケート実施概要



麒麟のまち

- 調査目的：麒麟のまち圏域住民の都市機能や生活機能に対するニーズ等を把握するため
- 配布数：各市町600件の計4,200件
- 回収数：1,766件（有効回収率42.0%）

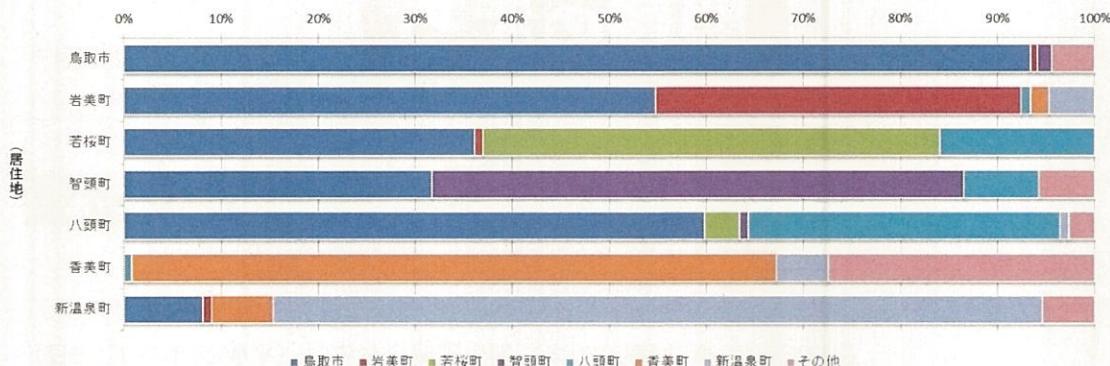
調査概要	
項目	内容
調査対象	麒麟のまち圏域1市6町の18歳以上の住民
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	平成28年10月12日～10月31日
配布数	4,200件（各市町600件×7市町）
有効回収数	1,766件（有効回収率42.0%）

市町	配布数	回収数	回収率
鳥取市	600	229	38.2%
岩美町	600	249	41.5%
若桜町	600	278	46.3%
智頭町	600	245	40.8%
八頭町	600	244	40.7%
香美町	600	282	47.0%
新温泉町	600	239	39.8%
計	4,200	1,766	42.0%

# 住民の通勤・通学状況

- 鳥取県東部の4町から鳥取市への通勤通学割合は高い
- 兵庫県北但西部の2町から鳥取市への通勤通学割合は低い
- 利用交通機関は自家用車・バイクが8割以上

住民の通勤通学先



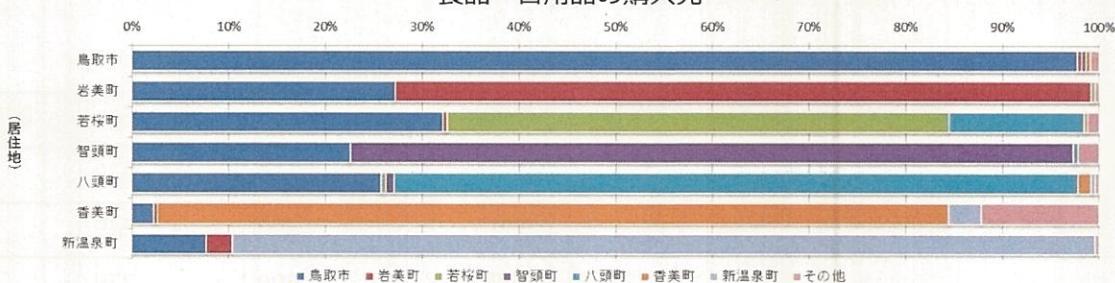
▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-3-

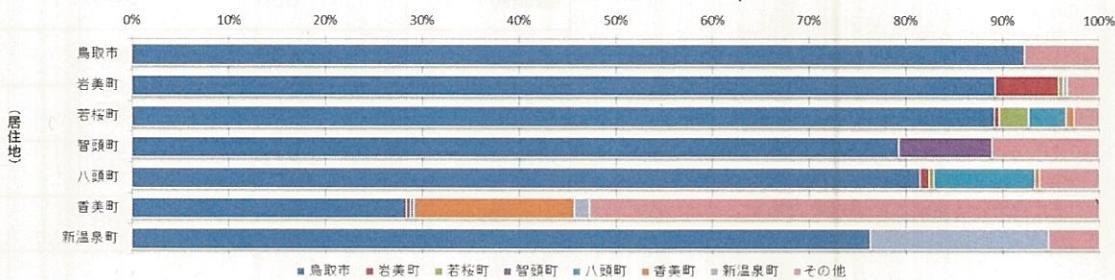
# 住民の購買行動

- 食品・日用品は居住市町での購入割合が高いが、衣料品、家電製品、家具類等は鳥取市での購入割合が高い

食品・日用品の購入先



衣料品の購入先

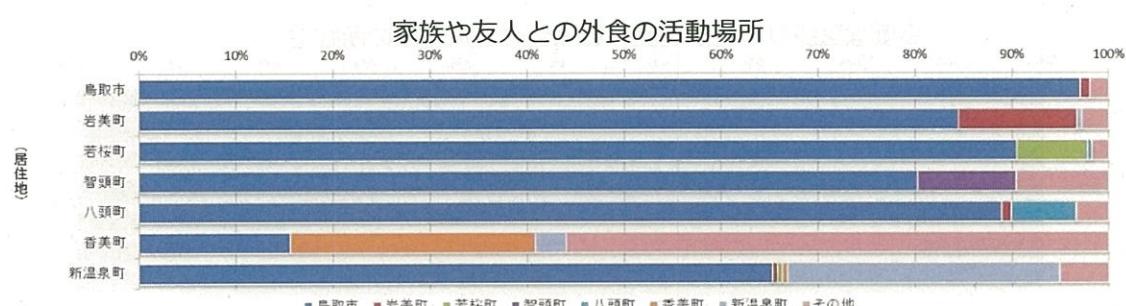
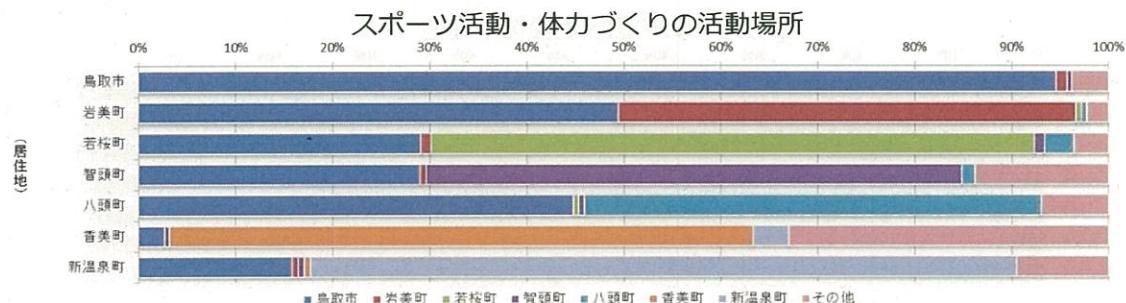


▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-4-

# 住民の余暇活動

- 活動内容に応じて居住市町の割合の高いものと鳥取市の割合が高いものがある

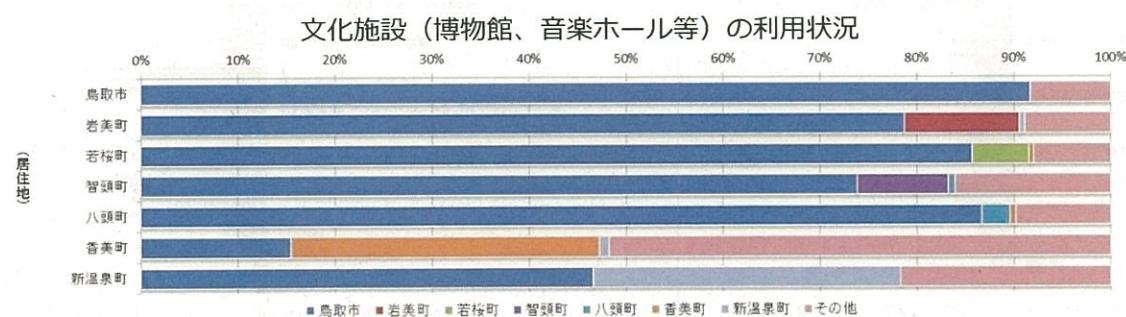
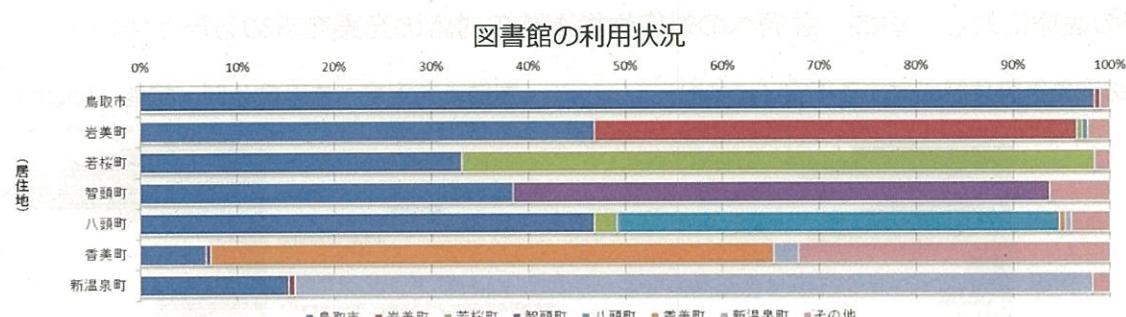


▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-5-

# 住民の公共施設の利用状況

- 利用施設に応じて居住市町の割合の高いものと鳥取市の割合が高いものがある

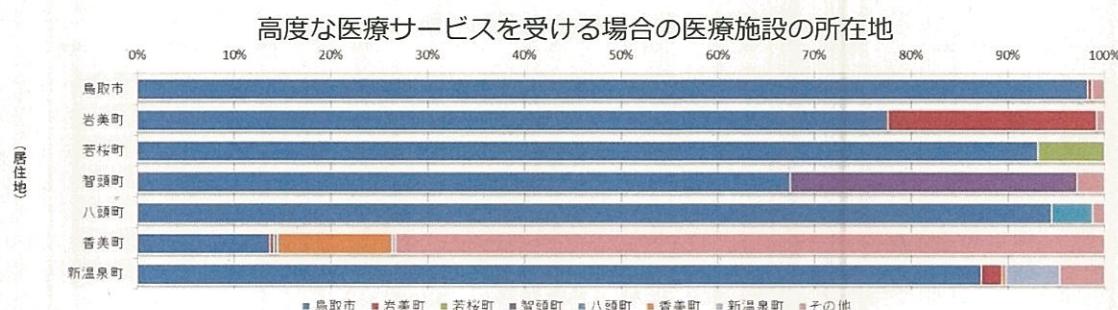
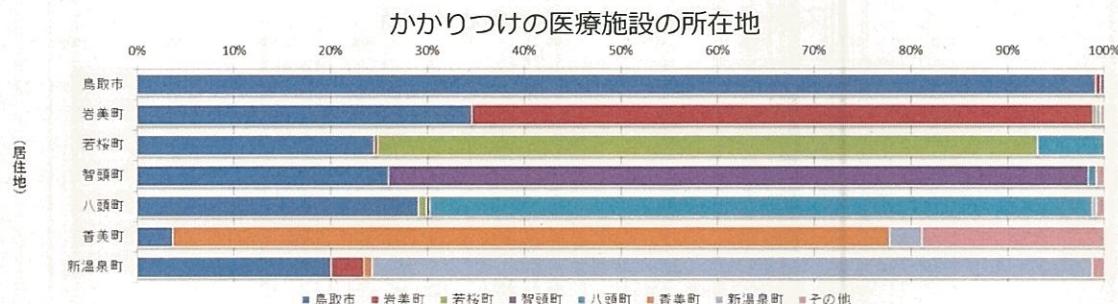


▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-6-

# 住民の医療機関の利用状況

- かかりつけの医療施設は居住市町の割合が高いが、高度な医療サービスを受ける場合の医療施設は鳥取市の割合が高い



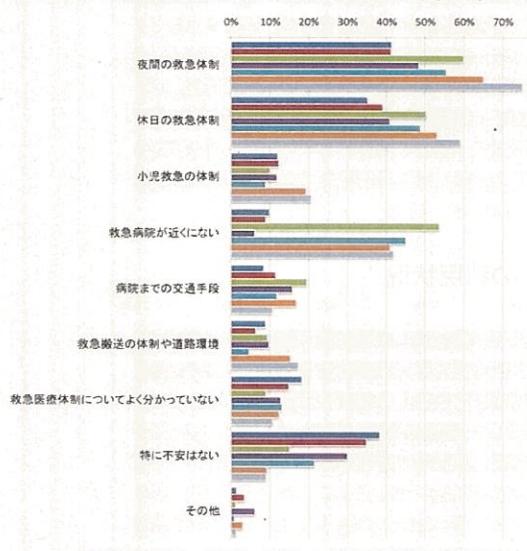
▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-7-

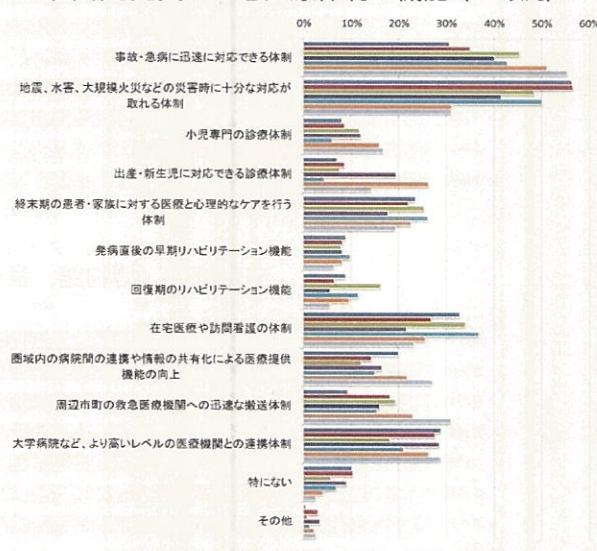
# 地域の医療体制への不安と期待

- 夜間の救急体制、休日の救急体制に対する不安が多い。また、若桜町、八頭町、香美町、新温泉町では救急病院が近くにないことへの不安が多い
- 圏域の医療に対し、事故・急病への対応や災害時の対応の充実を求める声が多い

## 居住市町の救急医療体制に対する不安 (3つ以内)



## 圏域で充実すべき医療体制・機能 (3つ以内)



▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

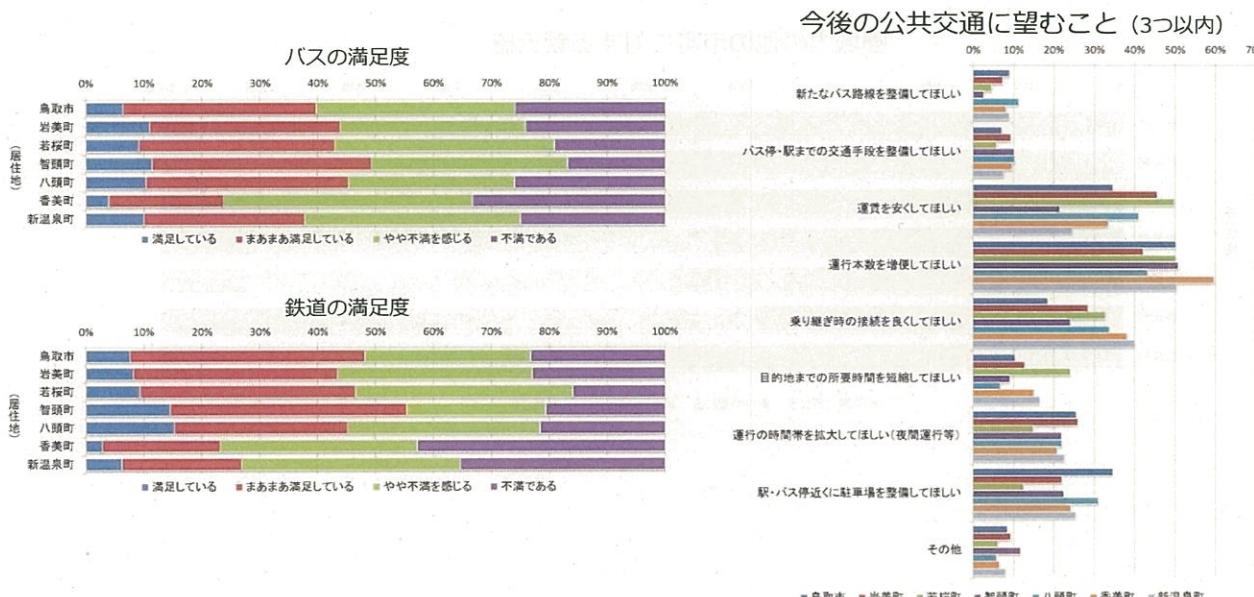
-8-



麒麟のまち

# 公共交通の満足度と要望

- 公共交通の満足度は概ね5割を下回っており、総じて低いものとなっている
- 今後の公共交通に望むこととしては、運行本数の増便、運賃の引き下げ、乗り継ぎ接続の改善を求める声が多い



▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

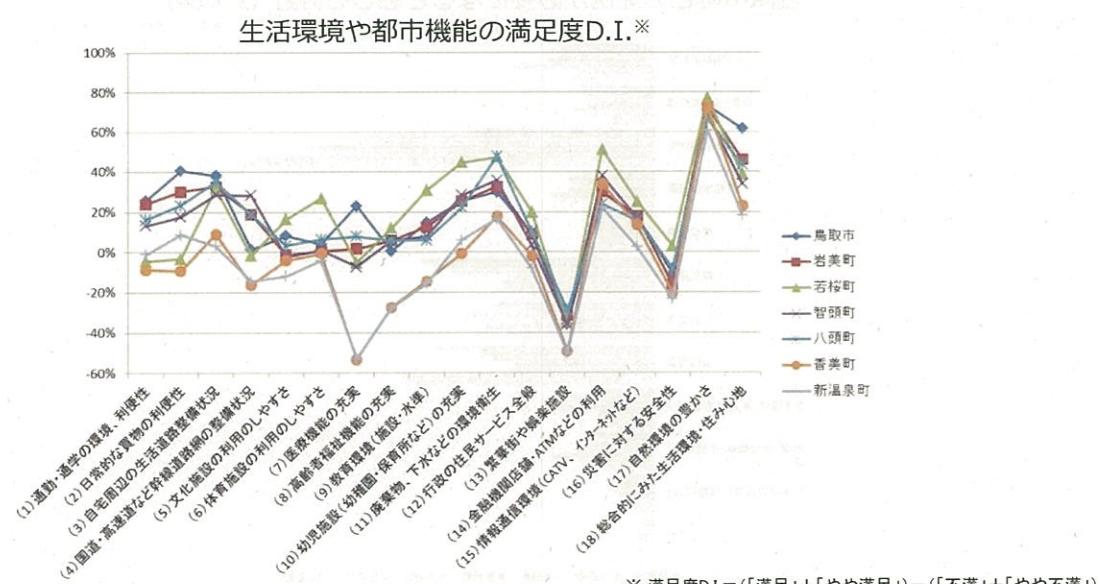
-9-



麒麟のまち

# 生活環境や都市機能の満足度

- 総合的にみた生活環境・住み心地は満足している人のほうが多い
- 自然環境の豊かさ、金融機関の利便性、廃棄物・下水などの環境衛生の満足度が高い
- 繁華街や娯楽施設の満足度が低く、一部地域では医療機能・福祉機能の満足度が低い



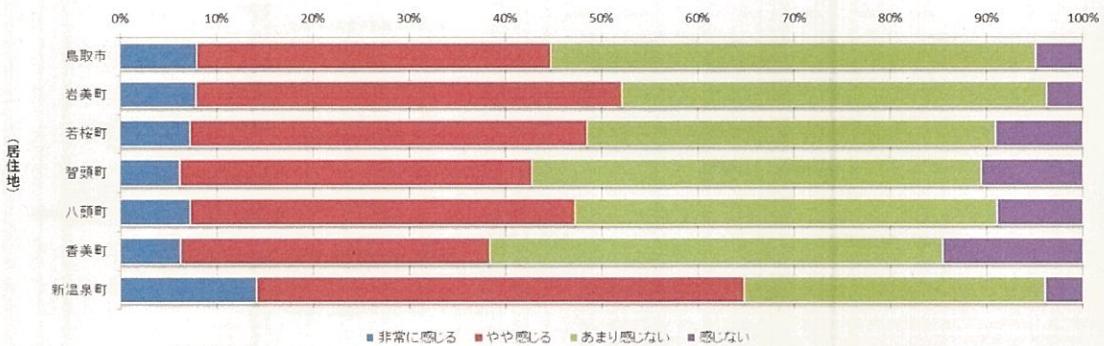
▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-10-

## 圏域内の他の市町に対する親近感

- 圏域内の他の市町に対する親近感は、新温泉町、岩美町では「感じる」が「感じない」を上回っているが、他の5市町では「感じる」より「感じない」が多い

圏域内の他の市町に対する親近感



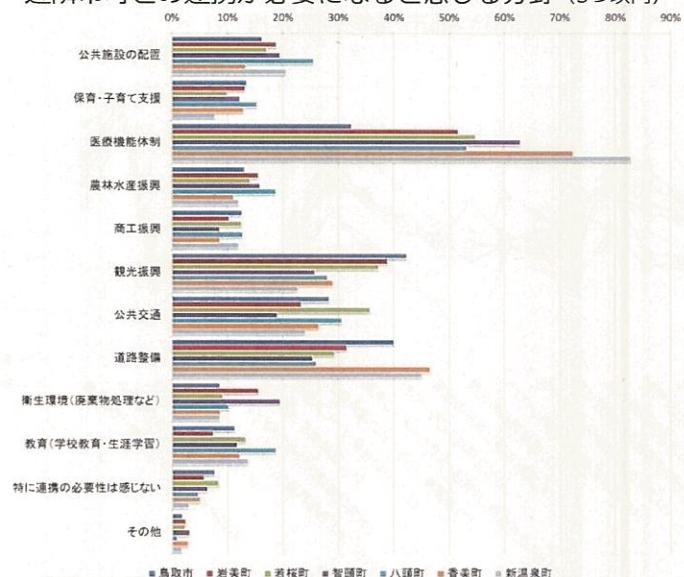
▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-11-

## 近隣市町との連携が必要になると感じる分野

- 近隣市町との連携が必要になると感じる分野は、医療機能体制が全ての市町で最も高い。次いで、観光振興、道路整備、公共交通などの分野が高くなっている
- 特に連携の必要性は感じないは、全ての市町で1割以下

近隣市町との連携が必要になると感じる分野（3つ以内）



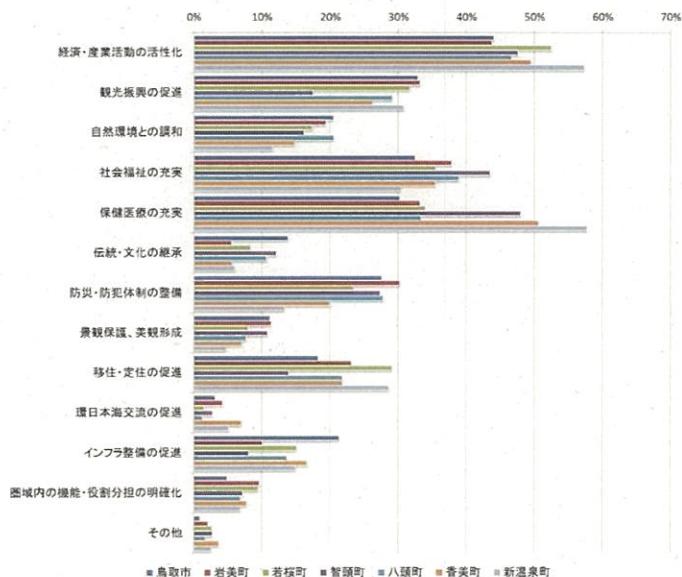
▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-12-

# 圏域の地域づくりで重視すべきこと

- 今後の圏域の地域づくりで重視すべきこととして、経済・産業活動の活性化、保健医療の充実、社会福祉の充実をあげる割合が高い

今後の圏域の地域づくりで重視すべきこと (3つ以内)



▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-13-

# アンケート結果のまとめ

## 【住民の生活行動】

- 活動内容に応じて居住市町内の機能と鳥取市の機能を使い分けている
  - 食品や日用品は居住市町で購入する人が多いが、衣料品等は鳥取市で購入する人が多い (4ページ参照)
  - スポーツ等は居住市町で行う人が多いが、外食は鳥取市で行う人が多い (5ページ参照)
  - 図書館は居住市町で利用する人が多いが、博物館、音楽ホール等の文化施設は鳥取市で利用する人が多い (6ページ参照)

## 【医療】

- 医療機能の連携に対する期待が大きい

- かかりつけ医に比べ高度な医療サービスは鳥取市で受ける人が多い (7ページ参照)
- 救急病院がない町では救急医療に対する不安が大きい (8ページ参照)
- 連携が必要だと感じる分野として医療機能をあげる意見が多い (12ページ参照)

## 【圏域の地域づくり】

- 経済・産業活動の活性化、保健医療の充実、社会福祉の充実を重視する人が多い
  - 今後の圏域の地域づくりで重視すべきこととして、医療・福祉に加え、経済・産業活動の活性化をあげる意見が多い (13ページ参照)





**麒麟のまち**

## 先進事例視察 結果報告（概要） 【備後圏域、八戸圏域】

平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料（平成28年11月28日）

作成：(株)山陰経済経営研究所



### I. 備後圏域

# I. 備後圏域

## (1) 備後圏域の概要

- 人口約87.6万人、うち中枢都市福山市46.1万人（シェア約53%）
- 構成市町は広島県側4市2町（福山市、三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町）と岡山県側2市（笠岡市、井原市）の計6市2町

備後圏域の構成市町



▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-3-

# I. 備後圏域

## (2) 広域連携の経緯

- 歴史的背景として、江戸時代以前は備後国、江戸時代以前は福山藩。
- 戦後は1964年に圏域の自治体の大部分が備後地区工業整備特別地域指定に指定され、1965年の旧日本钢管（現JFEグループ）福山工場開設など、わが国を支える工業地域として発展。通勤など住民の日常生活、経済・産業面とも結びつきが強い地域。
- 2011年、人口減少社会の到来を見据え広域的な課題の解決に着手するため6市2町の首長で組織する「備後圏域連携協議会」設立。広域的な課題解決に向けた取り組みとして、防災協定締結（2012年）、「こども発達支援センター」の共同運営（2012年）などの事業を展開。
- 2014年、総務省が新たな広域連携の構想提示、モデル構想事業応募・採択
- 2015年、福山市が連携中枢都市宣言（2月）、連携協約締結、「びんご圏域ビジョン」公表（3月）、連携事業スタート（4月）

連携協約締結式の様子



▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：株山陰経済経営研究所

-4-



麒麟のまち

# I. 備後圏域

## (3) 備後圏域のポテンシャル

項目	概要
中国地域の交通・物流機能 結節点	中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）、西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）の結節点、山陽新幹線福山駅、福山港、及び広島空港・岡山空港への近接性等。
ものづくりを中心とする産業 拠点（集積）	臨海部に鉄鋼、造船などの重工業が立地。大手エレクトロニクス関連企業も多数立地。また、紳士服（青山商事）、デニム製品（カイハラ、クロキ等）、フリーズドライ（天野実業）、ラジコンヘリコプター（ヒロボーグ）、食品トレー（エフピコ）など多様な分野のオーナー・ナンバーワン企業やグローバル・ニッチトップ企業が立地。
里山・里海からとれる多様な 農林水産物	くわい、タコ、ちりめん、レモン、ぶどう、神石牛など。
全国に誇る観光資源・スポーツ 資源	鞆の町並み、しまなみ海道、全国高校駅伝（世羅高校）など
高等教育機関の集積	県立広島大学（三原キャンパス）、尾道市立大学、福山市立大学、福山大学、福山平成大学の5大学、中国職業能力開発大学校付属短期大学校の1短期大学校。学生数約7,700名。（⇒地域の人材育成、産業支援等の拠点として大きな資源）

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-5-



麒麟のまち

# I. 備後圏域

## (4) 特色ある連携事業 ①産業

項目	概要
びんご産業支援コーディネーター	圏域内の中小企業の多様な経営課題を解決するため「びんご産業支援コーディネーター」を設置。販路拡大、ブランド戦略などのアドバイス、事業者間のマッチングなどを実施している。
備後圏域産業連関表の作成・活用	福山市が圏域内の産業連関表を作成（2015年）。これに基づく経済波及効果測定シートをオープンデータとして公表する計画。
備後圏域デニムプロジェクト	圏域内に集積しているデニム関連企業を一体的に情報発信し、「デニム産地」としての備後圏域の知名度向上及び関連企業の販路拡大などへつなげていく。
備後圏域ワインプロジェクト	既に特区の認定を受けている世羅町に加え、2016年に圏域内の6市1町が「備後ワイン・リキュール特区」として構造改革特別区域の認定を受ける（県境を越えた特区は全国初）。
福山ビジネスサポートセンター「Fuku-Biz」の開設	創業支援と中小企業の売上高向上支援を目的とし、中小企業や起業者に対して個別の経営相談に応じる窓口を2016年12月に開設予定。
ものづくり大学開講	ものづくり人材の育成を支援するため、行政、産業支援機関、大学等と連携し、ものづくりに関する各種研修・講演会、イベントなどを「ものづくり大学」として一体的に実施。「びんご産業支援WEB」を通じて情報を発信。

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-6-



# I. 備後圏域

## (5) 特色ある連携事業 ②高次都市機能・住民サービス

項目	概要
高次医療機能充実・強化	福山市民病院の救命救急センターがん医療に係る医療機器の整備など、高度医療の提供体制の充実に努めるとともに、圏域の公立病院等の医療機関との連携強化を図る。 看護師不足に対応し「看護職員再就職支援セミナー」開催等により潜在看護師の復職支援を図るなど、圏域全体で看護師の確保、教育・研修の充実に取り組む。
こども発達支援センターの共同運営	発達に課題のある子どもの支援を行う専門機関が圏域内になかったことから、福山市が医療機関である「こども発達支援センター」を整備。医師などの専門スタッフを確保する中で、圏域市町と共同運営している。保育所や医療機関等と連携して、発達に課題のある子どもに関する相談や診察、訓練を行うなど、専門的できめ細かな支援を実施。
圏域全体の地域包括ケアシステムの構築	在宅医療・介護連携の推進に向けて、各市町で連携して、医療・介護事業所の位置やサービスなどの情報がわかるマップの作成などに取り組んでいる。 また、福山市が実施している「市民後見人養成講座」受講対象者を圏域へ拡大するなど、認知症対策も推進。
BINGOフェスティバル開催	産業基盤が強いのに比して全国的な知名度が低いことから、備後圏域の特産品や活動等を圏域内外に発信するイベントの開催を計画。

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-7-

# I. 備後圏域

## (6) 推進組織



- 中枢都市圏形成以前から設立されている「備後圏域連携協議会」（市町長で構成）に加え域内の「産学金官民」が参画する「びんご圏域活性化戦略会議」を設置し、産学金官民の連携プラットホームを形成。PDCAサイクルの強化を図っている。
- 「びんご圏域活性化戦略会議」では具体的な事業立案に向けた議論を加速させていくため、「地域経済活性化」、「都市機能」、「住民サービス」の3つの研究部会を設置。
- 研究部会に「ものづくり」、「広域観光」、「高度人材育成」など5つのワーキングを設置している。各ワーキングの事務局は福山市の担当課が務める。各テーマに沿ったメンバー（産学金官民から選出）により次年度事業の方向性などを議論している。



17

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-8-



麒麟のまち

## I. 備後圏域

### (7) 連携中枢都市圏形成に取り組んだ感想

#### 【メリット】

- 福山市にはない資源がたくさんあり、つなげることで可能性が広がる。例えば地域資源を圏域全体で売り出すことで魅力が増す。
- スケールメリットが生じる。

#### 【デメリットあるいは苦労した点】

- 各市町との調整に時間がかかる。
- 一部の自治体では「これ以上事業を拡げたくない」という負担感があった。
- 連携事業の効果が出にくい。あるいは効果が目に見えにくい／測定が難しい。（例えば人材育成事業など）



麒麟のまち

## II. 八戸圏域

## II. 八戸圏域

### (1) 八戸圏域の概要

- 人口約33.5万人、うち中枢都市八戸市24.5万人
- 構成市町は八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町の計1市6町1村



▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-11-

## II. 八戸圏域

### (2) 定住自立圏取り組みの経緯

- 八戸圏域は、古くは藩政時代（南部藩）のころから、長い歴史を共有し、共通の文化・習慣があった。また、8市町村による一部事務組合の設置（昭和46年～）など、圏域の広域的課題（広域消防・ごみ焼却処理等）に対し、以前から一体となって取り組んでいた。
- 定住自立圏の取り組み
  - 平成20年10月、先行実施団体に選定
  - 平成21年3月、「中心市宣言」（八戸市）
  - 平成21年9月、定住自立圏形成協定合同調印式
  - 平成22年2月、八戸圏域定住自立圏共生ビジョン策定

八戸圏域定住自立圏形成協定調印式の様子

八戸圏域定住自立圏形成協定調印式



▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-12-



麒麟のまち

## II. 八戸圏域

### (3) 定住自立圏の連携施策・事業 ①全体像

連携施策・事業の全体像（24施策31事業）

1. 生活機能の強化	2. 結びつきやネットワークの強化
<p><b>(1) 医療</b></p> <p>1) 地域医療体制の充実 ・医師派遣事業 (H21~)</p> <p>2) 救急医療体制の充実 ・ドクターカー運行事業 (H21~)</p> <p>3) 周産期医療体制の充実 ・周産期医療体制周知事業 (H22~)</p> <p>4) 総合的な医療・健康対策の充実 ・(仮称)八戸市総合保健センター整備事業 (H28~)</p> <p><b>(2) 福祉</b></p> <p>1) 子育て支援の充実 ・特別保育事業 (H21~) ・ファミリーサポートセンター事業 (H22~) ・子育てつどいの広場 (H22~) ・子育てサロン事業 (H22~)</p> <p>2) 高齢者福祉の充実 ・高齢者福祉合同研修会等の開催 (H23~)</p> <p>3) 障がい者福祉の充実 ・障がい者福祉合同研修会等の開催 (H24~) ・障害支援区分判定審査事務の共同実施 (H24~)</p>	<p><b>(3) 産業振興</b></p> <p>1) 農業振興に係る情報提供体制の構築 ・農業情報提供事業 (H21~)</p> <p>2) そば生産の振興 ・南郷そば振興センター共同利用事業 (H22~)</p> <p>3) 畜産業の振興 ・畜産業及び畜産関連産業振興事業 (H27~)</p> <p>4) 商工業の振興 ・他地域連携ビジネスマッチング促進事業 (H27~)</p> <p>5) 中小企業従事者の福祉向上 ・勤労者福祉サービスセンター事業 (H23~)</p> <p>6) 観光の振興 ・観光PR推進事業 (H22~)</p> <p><b>(4) 教育</b></p> <p>1) 社会教育の推進 ・生涯学習情報提供事業 (H21~)</p> <p>2) 学校教育の推進 ・広域的体験学習支援事業 (H27~)</p> <p><b>(5) 環境</b></p> <p>1) 一般廃棄物の不法投棄防止 ・一般廃棄物不法投棄防止事業 (H23~)</p>

「第2次八戸圏域定住自立圏共生ビジョン」(平成28年7月変更)より

資料：八戸市提供資料

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-13-



麒麟のまち

## II. 八戸圏域

### (4) 定住自立圏の連携施策・事業 ②特徴的な事業

**ドクターカー運行事業 (H21年度~)**

- 圏域の拠点病院である八戸市立市民病院にドクターカーを配備(H22.3.29)。
- 消防の要請を受け、医師が救急現場に出動したり、搬送途中の救急車と合流することで、迅速に救急患者に対応。

出動件数累計(H28.3末)  
**6,816件**  
(うち圏域町村への出動：  
**1,263件**)

**移住パンフレットの作成**

**「半都半邑 (はんと はんゆう) の楽しさ」**

●仕様  
A4版カラー刷、38ページ  
5,000部作成

**移住関連イベントへの参加**

**JOIN移住・交流＆地域おこしフェア**

- 日時 平成28年1月17日(日) 10時~17時
- 会場 東京ビッグサイト
- 主催 (一社)移住・交流推進機構、総務省
- 来場者数 8,372人

**路線バスの上限運賃化 (H23年度~)**

- 圏域内の複数市町村を跨ぐ広域バス路線の運賃を、**初乗り150円・50円刻み・上限500円**に改定（実証実験を経て、H25年10月から本格実施）※市内路線は300円上限(万人)

【年間輸送人員の変化】(3事業者計)

- 県事業「八戸圏域移住推進研究会」**
- 移住者の受け入れにあたっての課題を抽出し、その解決手段を検討する研究会  
メンバー：市町村及び県担当者、外部アドバイザー
- 移住コーディネーターを配置予定(H28.10月~)**

資料：八戸市提供資料

-14-

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

## II. 八戸圏域

### (5) 定住自立圏に係る参考となる取り組み…議員連盟

- 八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟

<目的>

八戸圏域定住自立圏の形成に向けて、定住自立圏構想に対する理解を深めるとともに、意見交換等を通じ、圏域の振興・発展に資する

<構成>

八戸圏域定住自立圏関係市町村議会議員で構成する（圏域市町村議会議員 全126名）

<事業>

- (1) 定住自立圏構想に関する情報の収集及び分析
- (2) 定住自立圏構想に関する勉強会及び研修会の開催
- (3) 新たな広域連携制度に関する調査・研究
- (4) その他、八戸圏域定住自立圏の形成に資する事業

<設立>

平成21年9月9日

これまでの主な事業	平成27年度の活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会</li> <li>・講演会・シンポジウムの開催・参加</li> <li>・視察会（構成市町村）</li> <li>・各種要望活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月、総会開催</li> <li>・8月、市民シンポジウム</li> <li>・10月、視察会開催（田子町）</li> <li>・10月、第17回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会</li> <li>・1月、総務省要望</li> <li>・2月、連携中枢都市圏講演会</li> </ul>

資料：八戸市提供資料

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-15-

## II. 八戸圏域

### (6) 連携中枢都市圏形成に向けた取り組み



- 連携中枢都市圏の形成に向けた八戸圏域の動き

<平成26年度>

- 八戸圏域で連携中枢都市圏形成の可能性を検討することを圏域市町村長が合意

<平成27年度>

- 「新たな広域連携促進事業（総務省）」を活用するなど、連携の可能性を検討
- 8市町村の議会に検討状況を報告
- 八戸圏域で連携中枢都市圏形成に向けた手続きを進めることを圏域市町村長が合意

<平成28年度>

- 有識者等で構成される「八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会」や市町村職員で構成される「ワーキンググループ会議」等を開催し、連携中枢都市圏形成に向けた協議を進めているところ



八戸圏域連携中枢都市圏ビジョンの策定体制

- (1) 連携中枢都市圏庁内連絡会議  
連携事業を所管・実施する担当課長で構成し、連携事業に関する協議・調整等を行う
- (2) ワーキング会議  
連携する事業の分野毎に、8市町村の実務担当者で構成し、具体的な事業内容の協議・検討を行う
- (3) 市町村企画担当課長会議  
8市町村の企画担当課長で構成し、市町村長会議や連携中枢都市圏ビジョン懇談会へ付議する案件、圏域間の全体調整等を行う
- (4) 連携中枢都市圏ビジョン懇談会  
圏域内の民間や地域の関係者で構成し、連携中枢都市圏ビジョン策定に当たって意見をいただく

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：㈱山陰経済経営研究所

-16-

## II. 八戸圏域

### (7) 広域連携に取り組んだ感想



#### 広域連携のメリット・デメリット

	八戸市（中心市）	三戸町（構成市町村）
メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>スケールメリットを活かした圏域の活性化が図れる (例：販路開拓を行う際に八戸市の弱い農業を補完できる)</li><li>連携事業の促進による人口減少の緩和が図られる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>連携中枢都市圏の取り組みが人口減少対策の一つとなる</li><li>圏域の住民が概ね同等のサービスを享受できる</li><li>特別交付金がある。また、地域医療は別枠で交付金がある</li></ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"><li>職員の仕事が増える</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>中心市への一極集中が進む恐れがあると考える人がいる</li></ul>

#### 広域連携を進める上で行っている取り組み

- こまめな情報共有  
八戸圏域では市町村長会議や担当課長会議、担当者間の会議等を頻繁に開催している。また、メール等でもこまめに情報共有を図るように心がけている。
- 連携中枢都市圏への理解を深める  
市町村長、議員、職員等が参加する講演会等を開催し、連携中枢都市圏に対する理解を深めるよう心がけている

▶ 平成28年度 第3回麒麟のまち創生戦略会議資料  
作成：県山陰経済経営研究所



























問12 介護福祉サービスの利用について

(1) 家族の中の介護サービスの利用者の有無

	鳥取市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町	香美町	新温泉町	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1 いる	31	13.7%	33	13.5%	37	13.5%	33	13.8%
2 いない	195	86.3%	211	86.5%	238	86.5%	207	86.3%
計	226	100.0%	244	100.0%	275	100.0%	240	100.0%

(2) 「1いる」と回答した方...利用されている施設・事業所のある市町。「2.いない」と回答した方...介護が必要になった場合に利用すると思われる施設・事業所のある市町（全て）

	鳥取市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町	香美町	新温泉町	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1 鳥取市	104	95.4%	45	36.9%	39	31.5%	32	27.6%
2 岩美町	4	3.7%	118	96.7%	0	0.0%	0	0.0%
3 若桜町	2	1.8%	0	0.0%	111	89.5%	0	0.0%
4 智頭町	2	1.8%	0	0.0%	2	1.6%	110	94.8%
5 八頭町	2	1.8%	0	0.0%	33	26.6%	6	5.2%
6 香美町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 新温泉町	2	1.8%	1	0.8%	1	0.8%	0	0.0%
8 その他	3	2.6%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.9%
計	109	100.0%	122	100.0%	124	100.0%	116	100.0%

問13 地域の医療体制について

(1) お住まいの市町の救急医療体制に対する不安（3つ以内）

	鳥取市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町	香美町	新温泉町	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1 夜間の救急体制	93	41.3%	97	41.1%	160	59.9%	110	48.2%
2 休日の救急体制	79	35.1%	92	39.0%	134	50.2%	93	40.8%
3 小児救急の体制	27	12.0%	28	12.3%	27	10.1%	27	11.8%
4 無急病院がない	22	9.8%	21	8.9%	143	53.6%	14	6.1%
5 病院までの交通手段	19	8.4%	27	11.4%	52	19.5%	36	15.8%
6 救急搬送の体制や道路環境	20	8.9%	15	6.4%	25	9.4%	22	9.6%
7 救急医療体制についてよく分かっていない	41	18.2%	35	14.8%	24	9.0%	29	12.7%
8 特に不安はない	86	38.2%	82	34.7%	40	15.0%	68	29.8%
9 その他	3	1.3%	8	3.4%	31	1.1%	14	6.1%
計	225	100.0%	236	100.0%	267	100.0%	228	100.0%

(2) 今後、団域で充実すべきと思われる医療の体制・機能（3つ以内）

	鳥取市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町	香美町	新温泉町	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1 事故・急病に迅速に対応できる体制	69	30.6%	81	34.8%	120	45.3%	93	40.1%
2 地震、水害、大規模火災などの災害時に十分な対応が取れる体制	127	56.2%	131	56.5%	128	48.3%	96	41.4%
3 小児専門の診療体制	18	8.0%	20	8.6%	31	11.7%	28	12.1%
4 産業・新生児に対応できる診療体制	16	7.1%	20	8.6%	20	7.5%	45	19.4%
5 終末期の患者・家族に対する医療と心理的なケアを行う体制	53	23.5%	51	22.0%	67	25.3%	41	17.7%
6 発病直後の早期リハビリテーション機能	20	8.8%	19	8.2%	21	7.9%	19	8.2%
7 回復期のリハビリテーション機能	20	8.8%	15	6.5%	43	16.2%	13	5.6%
8 在宅医療や訪問看護の体制	74	32.7%	62	26.7%	90	34.0%	50	21.6%
9 地域内の病院間の連携や情報の共有化による医療提供機能の向上	45	19.9%	33	14.2%	32	12.1%	38	16.4%
10 周辺市町の救急医療機関への迅速な搬送体制	21	9.3%	42	18.1%	51	19.2%	37	15.9%
11 大学病院など、より高いレベルの医療機関との連携体制	65	28.8%	64	27.6%	48	18.1%	66	28.4%
12 特にない	23	10.2%	24	10.3%	15	5.7%	21	9.1%
13 その他	1	0.4%	7	3.0%	2	0.8%	8	3.4%
計	226	100.0%	232	100.0%	265	100.0%	232	100.0%









